

# 『UACJ Technical Reports』 創刊によせて



代表取締役社長 CEO  
岡田 満

『UACJ Technical Reports』創刊号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2013年10月1日に古河スカイ株式会社と住友軽金属工業株式会社が合併し、新たに株式会社UACJが誕生しました。アルミニウム圧延事業を取り巻く環境は、かつてないスピードで大きく変化しており、今後ますます厳しさを増すものと思われまます。このような事業環境にあつて、UACJグループは、これまで両グループが培ってきた技術力、品質対応力、製品開発力、設備などの経営資源を融合し、より有効に活用することで、お客様のニーズへの対応力のさらなる強化、シナジー効果の早期発現に努めております。こうした取り組みにより、国内事業基盤の強化とともに、環境・エネルギーなどの成長が期待される新規製品分野の開拓や、東南アジアなどの成長市場地域へのグローバル展開を図り、そして、グローバルマーケットで確固たる存在感を持つ「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」となることを目指してまいります。

UACJグループでは、2014年3月に公表した「将来ビジョン」(①新規成長分野・成長市場への積極的なグローバル展開、②事業再構築によるコスト競争力の強化、③新技術・新製品開発の推進)を踏まえ、12月には中期経営計画「Global Step I」として2015年度から2017年度までの3年間のより具体的な重点方針を以下のように策定しました。

- ① 自動車を中心とした輸送分野、エネルギー分野などの成長製品の拡大とアジアを中心とした成長地域の事業強化
- ② 各事業の最適生産体制の構築および技術融合の推進
- ③ 先端基礎研究の強化と豊富な蓄積技術の活用による新技術・新製品開発

各部門におきまして、これらの重点方針に基づいた具体的施策を迅速かつ着実に実行しております。

激しさを増すグローバル競争の中でUACJグループが成長し続けるためには、新技術・新製品の開発を推進してお客様のニーズに常に的確にお応えするとともに、アルミニウム板、押出などの素材をより合理的、より経済的に製造できる革新的プロセスの開発が必須です。アルミニウム材料の開発において、UACJグループには、100年以上に亘る長い開発の歴史に裏打ちされた知識と経験があります。こうした伝統と最新の分析・解析技術やCAEとの融合により、今後も革新的プロセス・材料の開発を図るとともに、地道に研究開発を継続していくことで、アルミニウムの持つ高いポテンシャルを製品として市場に具現化してまいります。

本誌は、これまでご愛読いただきました『Furukawa-Sky Review』と『住友軽金属技報』とを融合し、新たに『UACJ Technical Reports』として創刊しました。今後、本誌においてUACJグループの最新技術情報をご提供してまいりますので、皆様には、ご期待ご愛顧、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。